

徳とく泉く寺ほ報う

No.0048

発行
令和3年10月
発行元 徳泉寺
仙台市宮城野区
榴岡3-10-3
(022)297-4248
メールアドレス
tokusenji.sendai@gmail.com



ホームページ
tokusenji-sendai.com



Instagram
[tokusenji.sendai](https://www.instagram.com/tokusenji.sendai)



二〇二二年度 報恩講 勤修

気持ちの良い秋晴れの十月二十四日(日) 宗祖親鸞聖人ご命日法要二〇二二年度徳泉寺報恩講を無事に勤修いたしました。

コロナ禍にも関わらず、前日の準備から多くのご門徒さんにお集まりいただきました。他寺院のご僧侶をお願いしないで住職・前住職二人だけの内勤めでしたが、マスクを着けたままの参詣者の声が本堂に響き、ご門徒に支えられている徳泉寺らしい報恩講であったなあと改めて感じています。

人との関わりが制限されて一年以上が経ち、徳泉寺開山以来続いてきた報恩講も形を変えざるを得ない状況です。そんな状況だからこそなおさら、お久しぶりの方もこまめにお運びくださる方も一期一会の出偶いの中で共に命に手を合わせる機会をいただけただけことを有り難く嬉しく思いました。

いろいろなお事情でお運びいただけなかった方々もこちらの記事で雰囲気だけでも味わっていただければと思います。

ありがとうございました。



ご法話は昨年度から引き続き 若林区浄澤寺ご住職・小野和徳師にお願いいたしました。昨年度は段取りと準備だけで今を生きられない私たちの「空過」についての話しでしたが、今年はその続きにも当たる「他化自在天」(たけじざいてん) についてのお話しでした。

講師法話 小野和徳 師(若林区 浄澤寺住職)

私たちの生きる世界を例えた六道のひとつに「天」があり、その「天」のひとつに「他化自在天」があります。これはどういう所かというところ、他人のものをいかにも我がもの顔で手に入れて生活している人がいるところ、電気や車をはじめ私たちの生活のほとんどのものは他人が苦労して作ったものです。それを私たちは自分のもののような顔してお金で手に入れて生活しています。これは資本主義の原則です。私たちが当たり前の世界です。

しかし、もう一度考えてみてください。私たちがあってはありがたい「他化自在天」ですが実はお金で奪い取る欲望満載の世界です。良い暮らしがしたい、人よりちょっと上にいきたい(自分を中流階級だと思っている人のことです)、そういう見栄、張り、虚栄心に満ちた私たちの煩惱は死を迎えるまでなくなることはありません。この頑固で虚栄心に満ちた欲望の塊は人と人、国と国との争いのもととなり差別や戦争をもたらします。コロナ、放射能、ハンセン病、部落差別、アイヌ民族、沖縄問題、日本

国内だけでも差別の引き起こす問題は数限りなくあります。こういう「他化自在天」の世界に生きていく私達ができることは知ることです。差別のない本願という仏の世界を聞いていくこと。知っているか知らないかで歩みが違ってくるのだと思います。

